



# 暮らしやすく魅力あふれる 活力あるまちづくりを目指して

路面電車は、高齢者をはじめ市民の生活が快適になるのはもちろん、国内外からの観光客の移動手段としても大きな役割を果たします。

## 路面電車のこれから

札幌市は、様々な分析や検討の結果、路面電車の事業の経営強化や、まちづくりへの活用を図るため、路線の延伸は実施すべきと考えており、「都心」「創成川以东」「桑園」の3地域を対象に、今後、延伸の具体的な検討を進めていきたいと考えています。実施の判断には十分な市民議論が必要です。市民のみなさんも一緒に札幌市の未来について考えていきましょう。

なぜ路面電車が良いの？

# ここが知りたい! Q&A

## Q1. 路面電車の存続について、市民はどう考えているのですか？

A. 平成15年に実施された全区の市民1万人を対象とした「市民アンケート」では、路線を廃止してバスを運行させるべきという意見が33.9%であったのに対し、まちのシンボルであることや高齢化社会に対応できる交通機関であることなどといった理由で半数以上の55.4%の方が路面電車の存続を望んでいました。



## Q2. 路面電車を廃止し、代わりにバスを運行させた都市がありますが札幌ではできないのですか？

A. 現在の路線をバスで対応しようとすると朝のラッシュ時は2分間隔の運行が必要となり、ダイヤを保つのが難しくなります。バスに代えたほかの都市では、ダイヤの遅れなどで利便性が低下した結果、それまで利用していた人の約4割が家用自動車などに転換しました。そのため新たな渋滞の発生、環境負荷の増大なども懸念されます。

## Q3. 札幌市の財政状況が良くない中で、路線を延伸しても、赤字になり借金が増えるだけではないのですか？

A. 現状のまま、路線の延伸を実施しても、事業の安定的な経営を見通すことは困難です。しかし、路線延伸に併せて今後経費削減等による「経営の効率化」や「利用者負担のあり方」を検討することにより、建設費用はかかるものの将来的には赤字を出さずに自立的な経営ができるものと見込まれています。

## Q4. なぜ、以前廃止した地域に再び延伸するのですか？

A. 現在の路線になってから、すでに30年以上が経過しており、公共交通機関に対する需要の変化や社会状況の変化により、路面電車の必要性は高まっていると考えています。また、フランスのパリでは全廃した路面電車を復活させるなど、国内外において路面電車の導入が進んでいます。

## Q5. 都心部に路線を延伸したら渋滞が悪化するのではないですか？

A. 今後、自動車交通量の増加が予想される都心部では、今以上の道路の拡幅は困難であり、渋滞が悪化することが考えられます。公共交通機関の充実によって、家用自動車からの転換を図り、過度に家用自動車に頼らない都市構造に変えていく必要があると考えています。

## Q6. 現在、都心部には地下鉄があり、これから地下歩行空間もできるので路面電車を利用する人は少ないのではないのですか？

A. 地下鉄への乗降や地下歩行空間での移動は、高い利便性を感じる人がいる一方で、高齢者等には体力的に負担がかかり利用しづらい面があります。路面電車は、道路から直接乗降でき、また停留場の間隔が短く目的地の近くまで行くことができるため、すべての人にとって利用しやすく、これから迎える超高齢化社会にも対応できる有効な交通機関であると考えています。

## Q7. 路線の延伸によって都心部ばかりが便利になると思うのですが？

A. 今後の社会状況として、人口減少により札幌の中心である都心部の魅力低下が懸念されます。路線の延伸により利便性を向上させ、「まちの顔」である都心部が多くの人で賑わい、活性化することで、札幌のまち全体の活性化に繋がっていくと考えています。

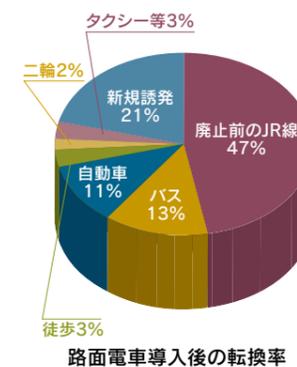


## Q8. 路線の延伸について、専門家はどうか考えているのですか？

A. 路面電車の可能性について幅広く議論するため、平成17年から1年間にわたり、学識経験者や商業団体、市民団体等が委員となり「さっぽろを元気にする路面電車検討会議」が行われました。その結果、平成18年9月に札幌市に対してJR札幌駅までの延伸が必要であるとの提言等がなされています。

## Q11. 路線の延伸をしても自動車からの転換やまちの活性化にはつながらないのではないのですか？

A. 富山市では、4年前に廃止されたJR線を活用して路面電車を導入した結果、導入前と比べ高齢者を中心に利用者数が増加し、その数は2.2倍にもなりました。さらに利用者のうち、3割以上が今まで自動車を利用していた人と新たに外出するようになった人だという結果が出ていることから、まちの活性化に貢献していることがうかがえます。



## Q9. 札幌市の路面電車の車両は新しくなるのですか？

A. 現在使用している車両には、50年以上経過しているものも多く、安全性の維持のために順次更新する必要があります。更新の際には車両のデザインも考慮した上で、段差なしで乗降ができ、すべての人が利用しやすい低床車両へ変えていきます。

## Q10. 路面電車は停留場が車道の真ん中にあるため、不便さを感じることはあるのですか？

A. 路線の延伸にあたっては、歩道際に軌道を設ける方式を一部区間に取り入れることを検討しています。これにより歩道の停留場から路面電車に直接乗降することができ、より利用しやすい交通機関となります。

